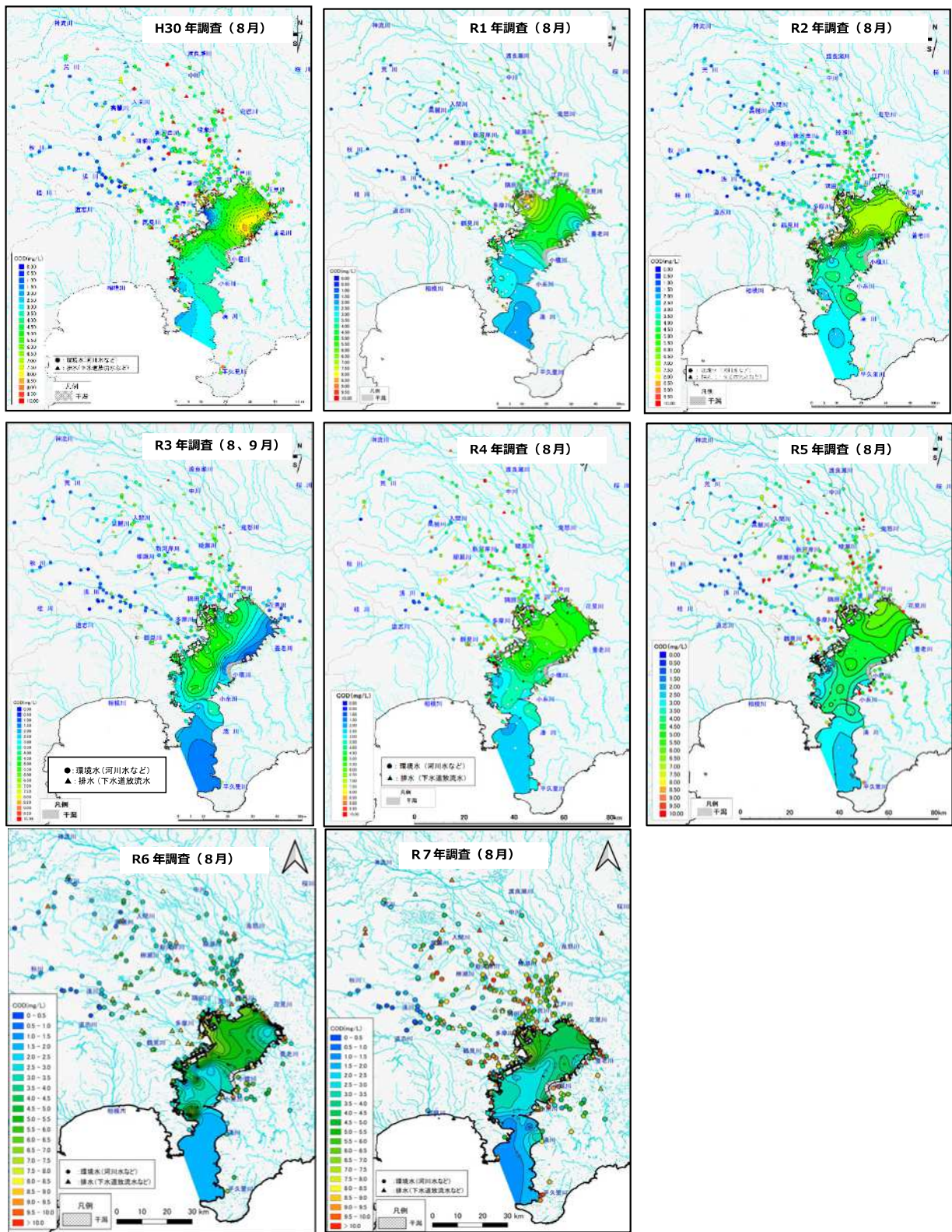


調査基準日前後の調査結果を含む。(次頁へ続く。)

図 6-2a 平成 21 年～平成 29 年（平成 26 年は 9 月、その他は 8 月）の
COD 観測結果の比較



調査基準日前後の調査結果を含む。

図 6-2b 平成 30 年～令和 7 年（令和 3 年は 8 月及び 9 月、その他は 8 月）の COD 観測結果の比較

(1) 多摩川水系

多摩川水系において、水温は、本流では、上流から下流に向かって 22 °C から 32 °C 程度に上昇し、支流では、上流から下流に向かって 20 °C から 32 °C 程度に上昇していました。

流量は、本流では、上流から下流に向かって 2 m³/s から 14 m³/s 程度に上昇している。支流では、0.1 m³/s から 2 m³/s 程度の値でした。

COD は、本流では、上流から下流に向かって 1 mg/L から 6 mg/L 程度に上昇しており、支流では、1 mg/L から 6 mg/L 程度の値でした。

DO は、本流では、上流から下流に向かって 12 mg/L から 5 mg/L 程度に減少しており、支流では、6 mg/L から 14 mg/L 程度の値でした。

透視度は、本流では、上流から中流にかけては最大の透視度である 100 cm が記録される点もあったが、下流側で 40 cm 程度に減少している場合が多かった。支流では、60 cm から最大の透視度 100 cm の値でした。



背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに編集・加工

図 7-2 多摩川水系流域における調査点図

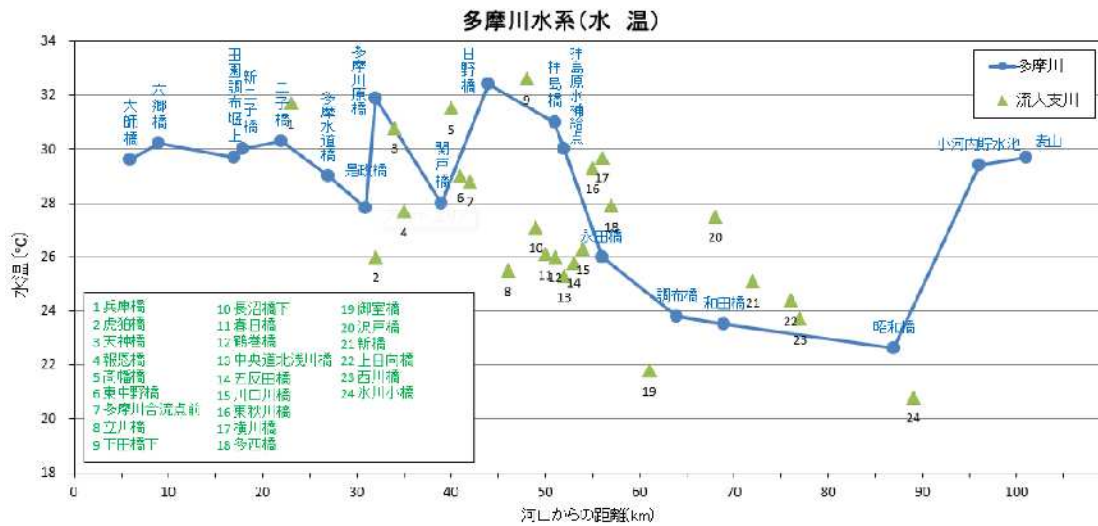


図 7-3 多摩川水系における水温（8月）と河口からの距離の関係

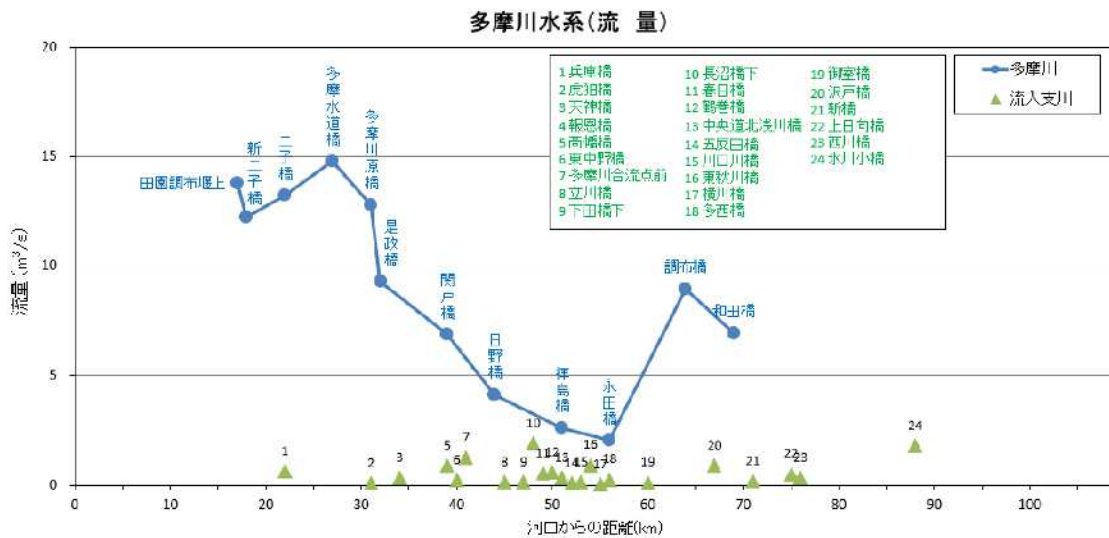


図 7-4 多摩川水系における流量（8月）と河口からの距離の関係

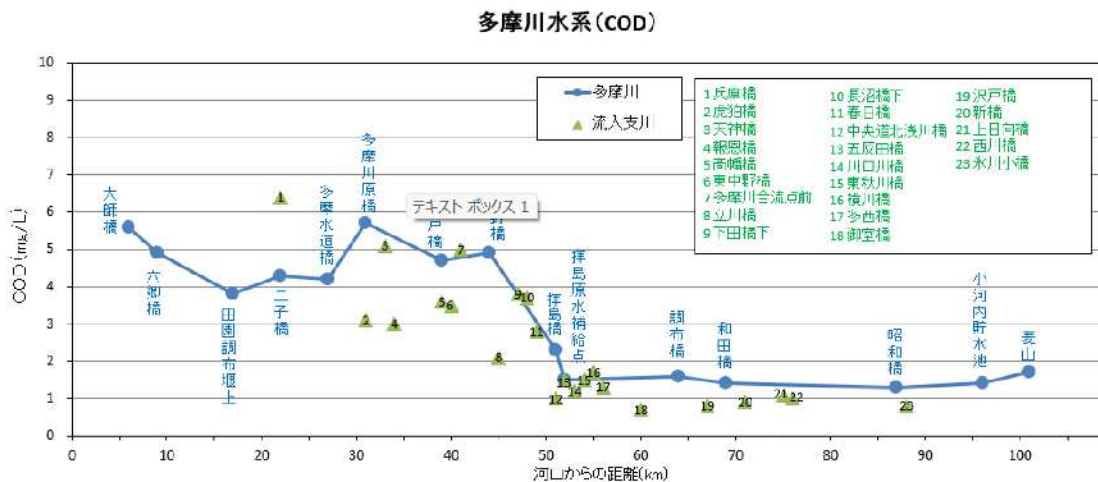


図 7-5 多摩川水系における COD（8月）と河口からの距離の関係

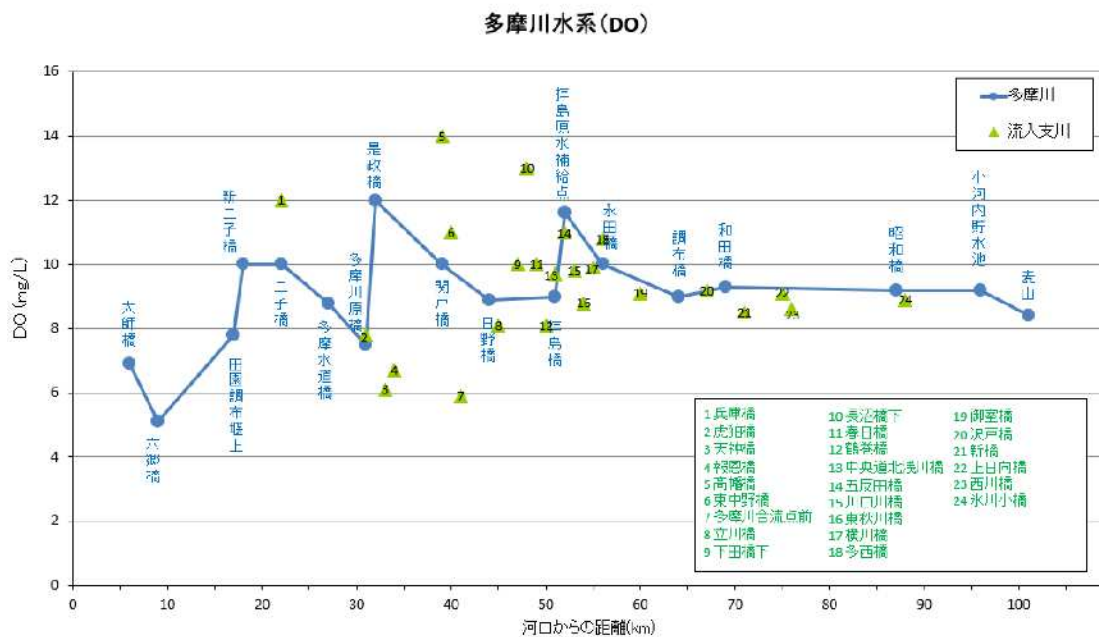


図 7-6 多摩川水系における DO (8月) と河口からの距離の関係

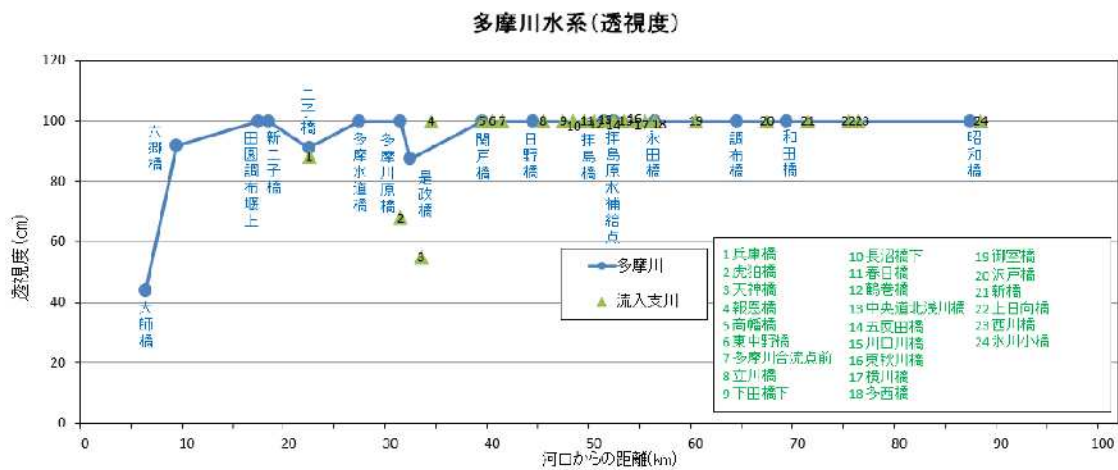


図 7-7 多摩川水系における透視度 (8月) と河口からの距離の関係

(2) 荒川水系

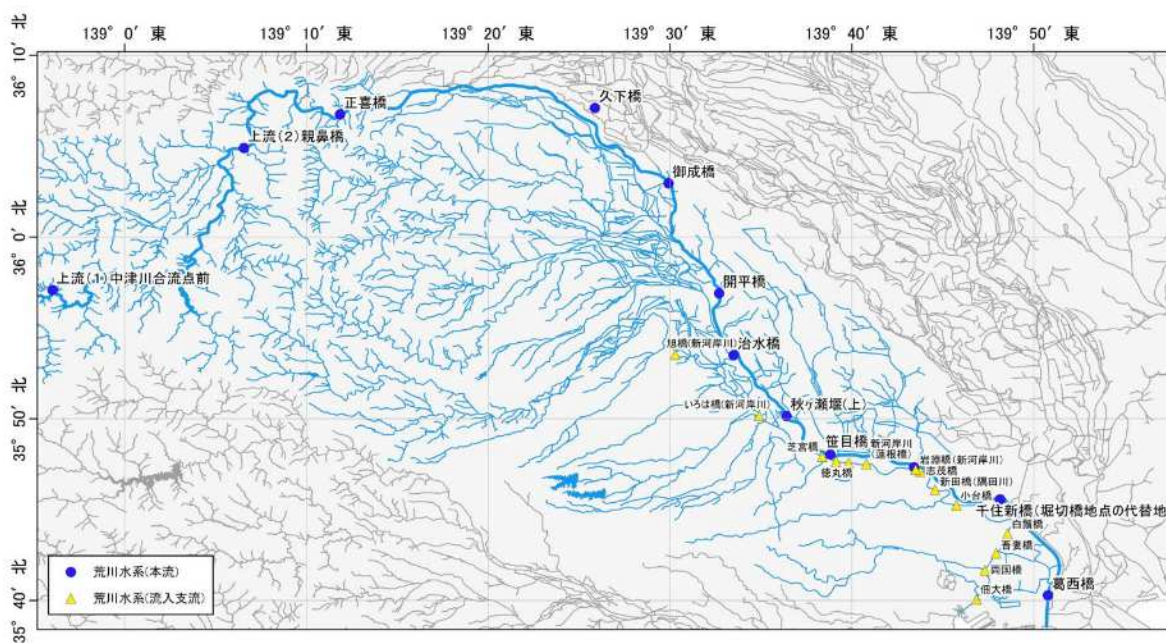
荒川水系において、水温は、荒川では、上流から下流に向かって 20 °C から 31 °C 程度に上昇し、隅田川、新河岸川では、上流から下流に向かって 24 °C から 32 °C 程度に上昇していました。

流量は、計測地点が少ないですが、上流から下流に向かって 12 m³/s から 20 m³/s 程度に上昇し、隅田川、新河岸川では、上流から下流に向かって 1 m³/s から 31 m³/s 程度に上昇していました。

COD は、荒川では、上流から下流に向かって 2 mg/L から 9 mg/L 程度に上昇し、隅田川、新河岸川では、上流から下流に向かって 2 mg/L から 7 mg/L 程度に上昇していました。

DO は、荒川では、上流から下流に向かって 9 mg/L から 14 mg/L 程度に上昇し、隅田川、新河岸川では、上流から下流に向かって 8 mg/L から 5 mg/L 程度の値でした。

透視度は、荒川では、上流から中流では最大透視度の 100 cm、下流で 20 cm 程度に減少し、隅田川、新河岸川では、上流から下流に向かって最大透視度の 100 cm から 40 cm 程度に減少していました。



背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに編集・加工

図 7-8 荒川水系流域における調査点図

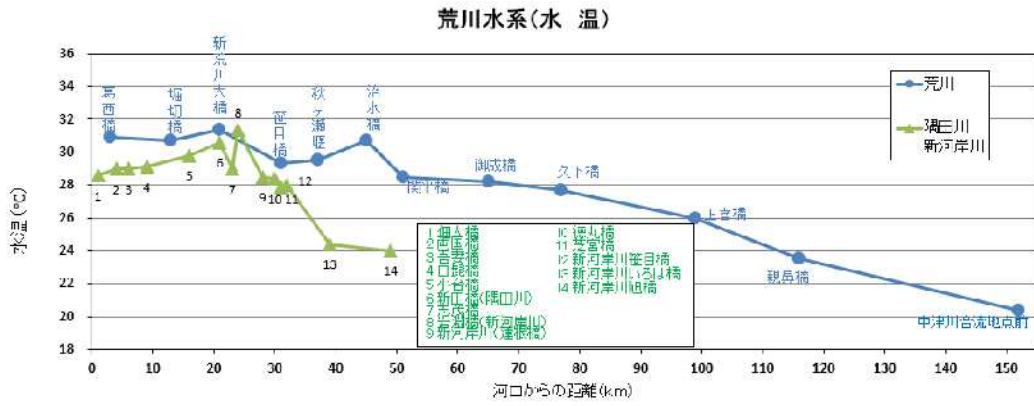


図 7-9 荒川水系における水温（8月）と河口からの距離の関係

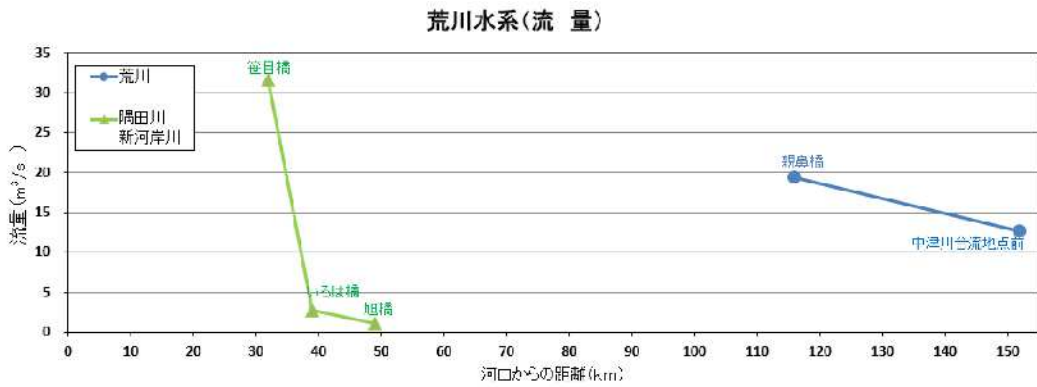


図 7-10 荒川水系における流量（8月）と河口からの距離の関係

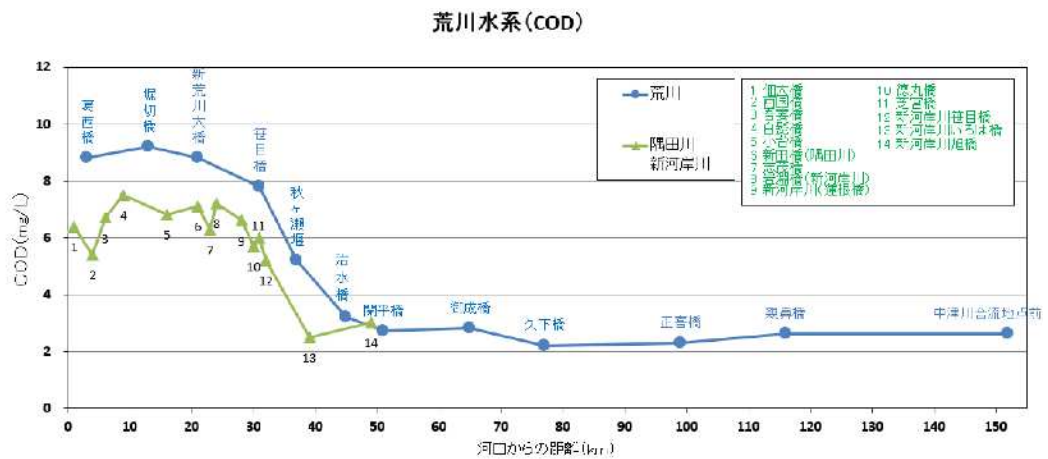


図 7-11 荒川水系における COD（8月）と河口からの距離の関係

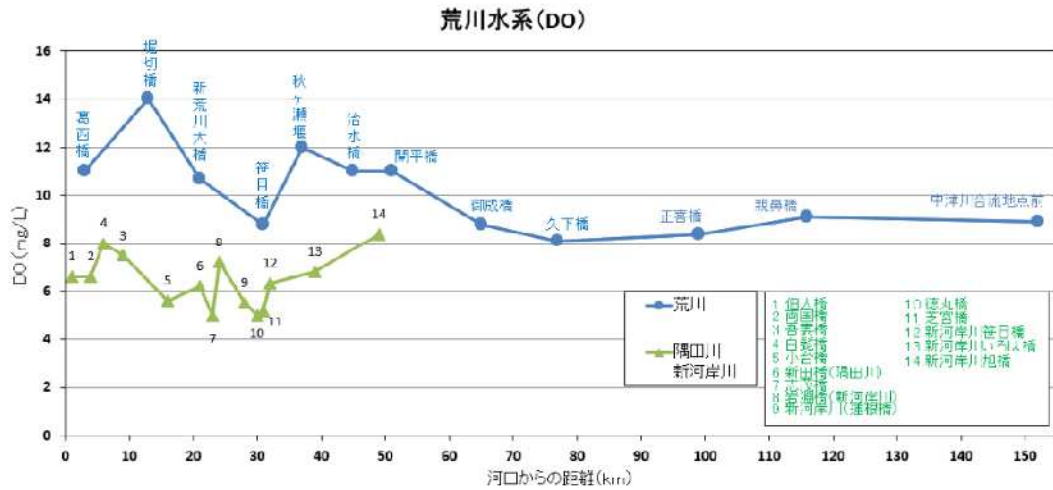


図 7-12 荒川水系における DO（8月）と河口からの距離の関係

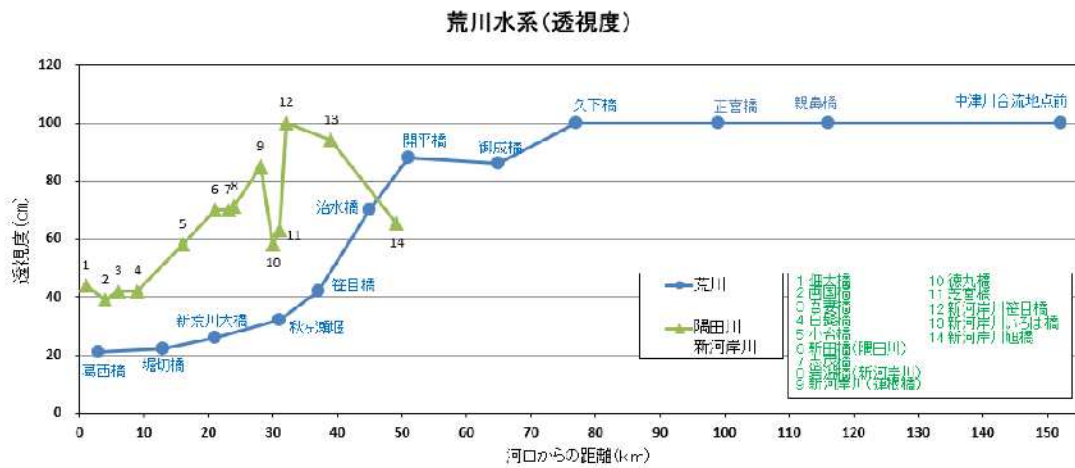


図 7-13 荒川水系における透視度（8月）と河口からの距離の関係

(3) 利根川水系（中川、江戸川、綾瀬川）

水温は、中川では、上流から下流に向かって 27 °C から 33 °C 程度に上昇し、江戸川では、上流から下流に向かって 31 °C から中間地点で 33 °C 程度に上がり、河口付近で 31 °C 程度に下がり、綾瀬川では、上流から下流に向かって 28 °C から 32 °C 程度に一旦上がってから、また下がっていました。

流量は、中川と綾瀬川では上流から下流に向かって増加しており、中川では、6 m³/s から 180 m³/s、綾瀬川では、4 m³/s から 40 m³/s 程度に増加し、江戸川では、上流で 60 m³/s 程度の流量があるものの、堰による分水や感潮域の影響により河口域で流量が減少していました。

COD は、いずれの河川でも上流から下流に向かって増加しており、中川では、5 mg/L から 7 mg/L、江戸川では、4 mg/L から 5 mg/L、綾瀬川では、5 mg/L から 7 mg/L 程度に上昇していました。

DO は、中川では、上流から下流に向かって 7 mg/L から 4 mg/L 程度に下がり、一旦 8 mg/L 程度に上がった後に 4 mg/L 程度に下がり、江戸川では、上流から下流に向かって 8 mg/L から 10 mg/L 程度に上がった後に 5 mg/L 程度に下がり、12 mg/L 程度に上がった後に 6 mg/L 程度に下がり、綾瀬川では、上流から下流に向かって 6 mg/L から 2 mg/L 程度に減少していました。

透視度は、中川では、上流から下流に向かって 70 cm から 20 cm 程度に減少し、江戸川では、上流から下流に向かって 50 cm から 40 cm 程度に減少した後に 70 cm 程度に上昇し、一旦減少してから河口で 60 cm 程度に上昇し、綾瀬川では、上流から下流に向かって 50 cm から 30 cm 程度に減少し、60 cm 程度上昇していました。

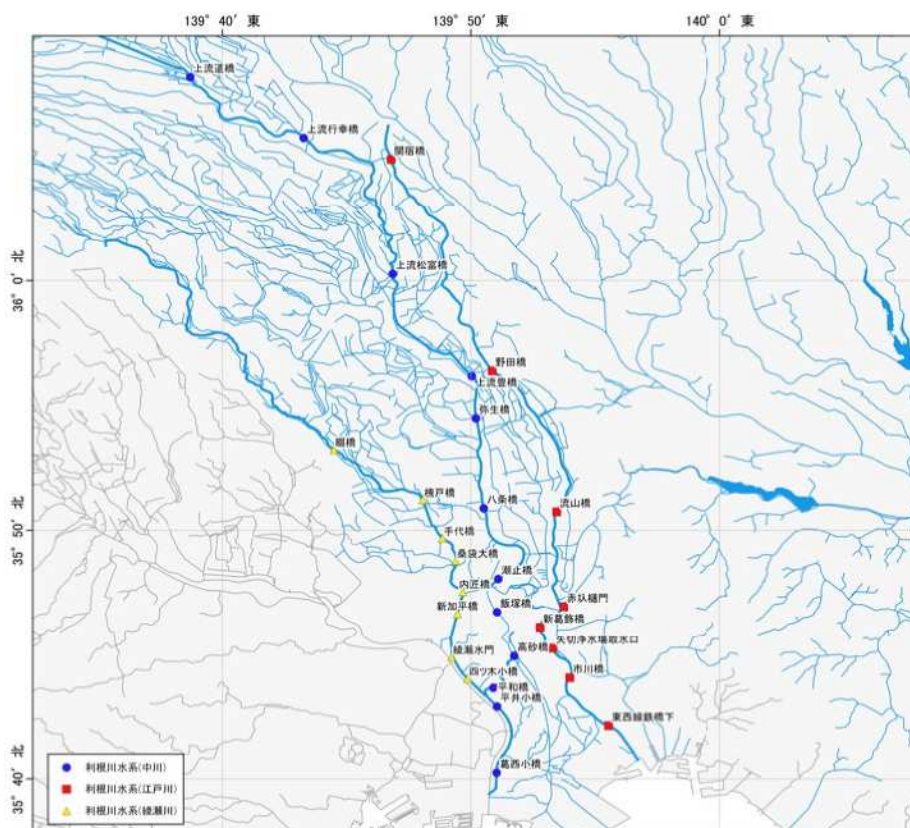


図 7-14 利根川水系流域①（中川、江戸川、綾瀬川）における調査点図

背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに編集・加工

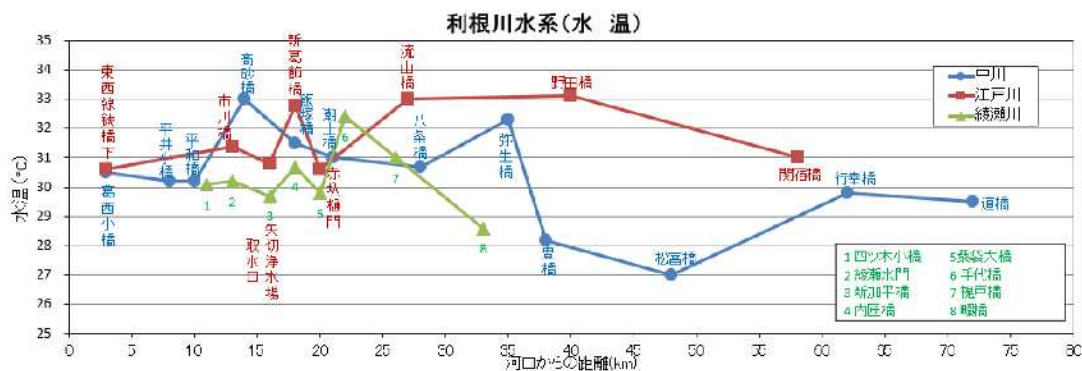


図 7-15 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における水温（8月）と河口からの距離の関係

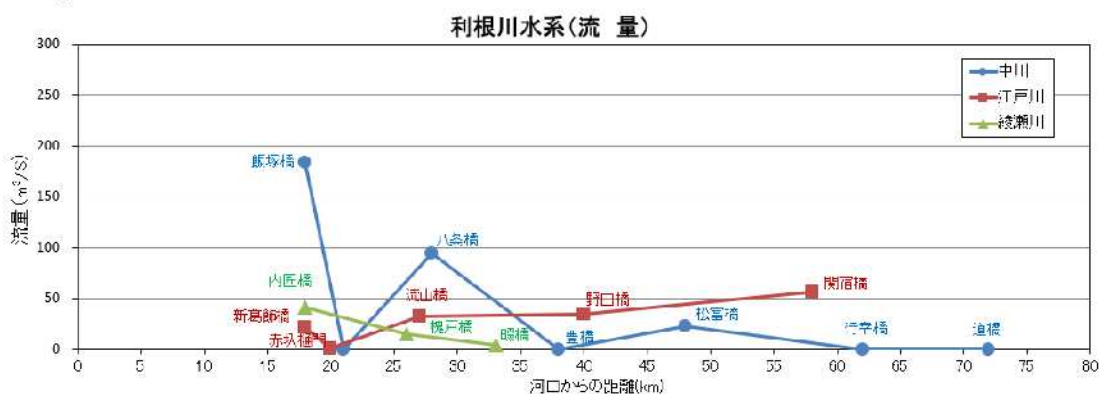


図 7-16 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における流量（8月）と河口からの距離の関係

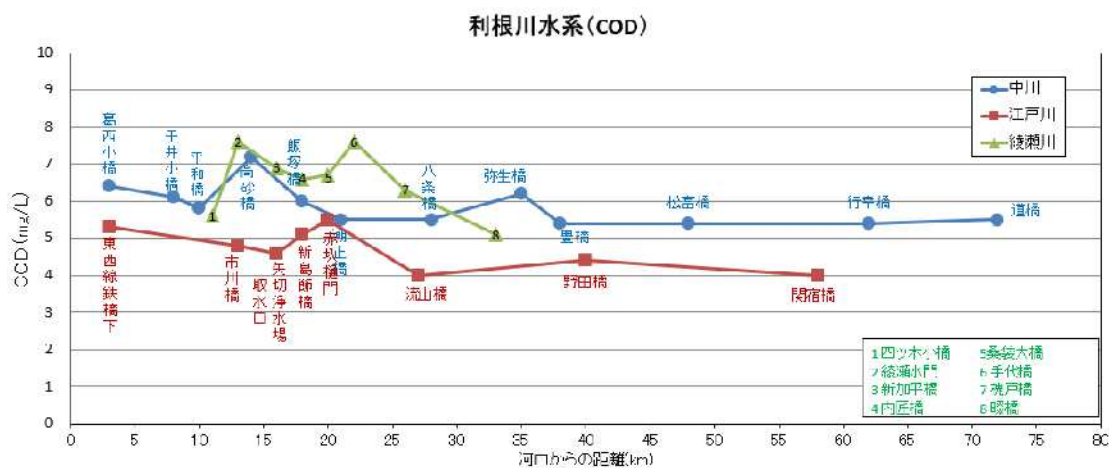


図 7-17 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における COD（8月）と河口からの距離の関係

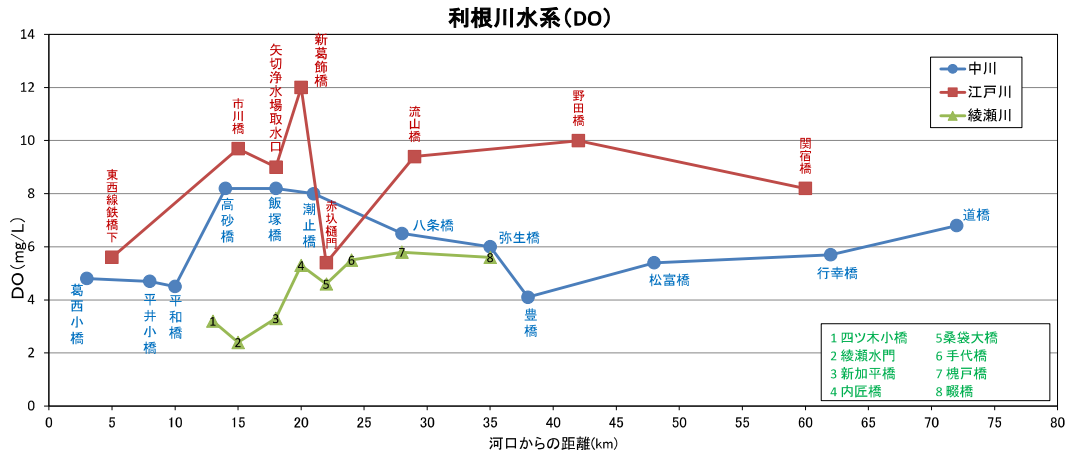


図 7-18 利根川水系① (中川、江戸川、綾瀬川) における DO (8月) と河口からの距離の関係

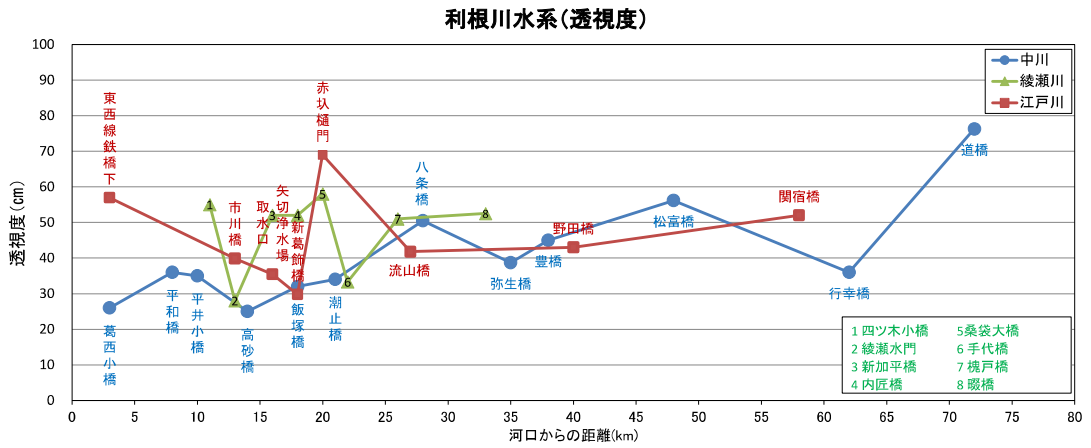


図 7-19 利根川水系① (中川、江戸川、綾瀬川) における透視度 (8月) と河口からの距離の関係

(4) 鶴見川水系

鶴見川水系において、水温は、本流では、上流から下流に向かって 30 °C程度で、支流では、29 °Cから 32 °C程度の値でした。

流量は、本流では、上流から下流に向かって 2 m³/s から 4 m³/s 程度に上昇し、支流では、0.1 m³/s から 2 m³/s 程度の値でした。

COD は、本流では、上流から下流に向かって 7 mg/L から 9 mg/L 程度に上昇し、支流では、9 mg/L から 3 mg/L 程度の値でした。

DO は、本流では、上流から下流に向かって 12 mg/L から 5 mg/L 程度に減少し、支流では、4 mg/L から 7 mg/L 程度の値でした。

透視度は、本流では、上流では最大透視度の 100 cm を記録し、河口域で 70 cm 程度に減少していました。支流では、早湊川の 60 cm 以外は、最大透視度の 100 cm でした。



背景地図：国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに加工、国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに編集・加工

図 7-20 鶴見川水系流域における調査点図

鶴見川水系(水 温)

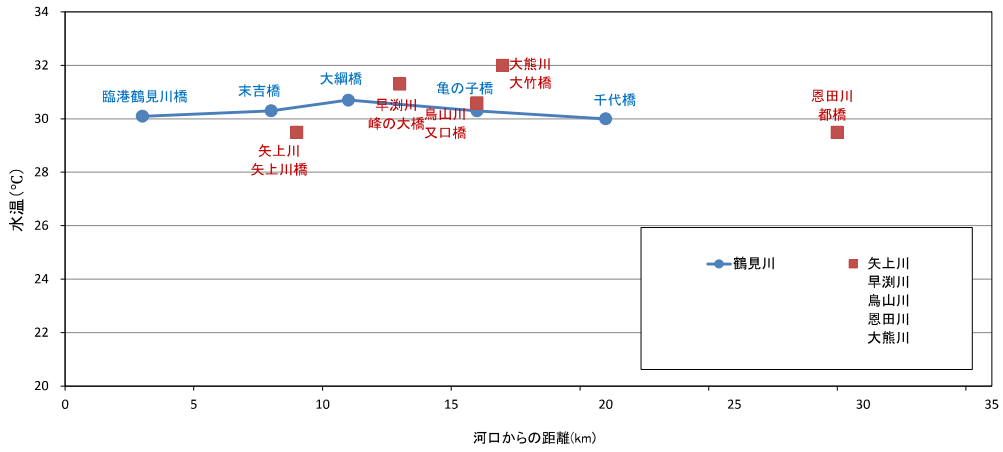


図 7-21 鶴見川水系における水温（8月）と河口からの距離の関係

鶴見川水系(流 量)

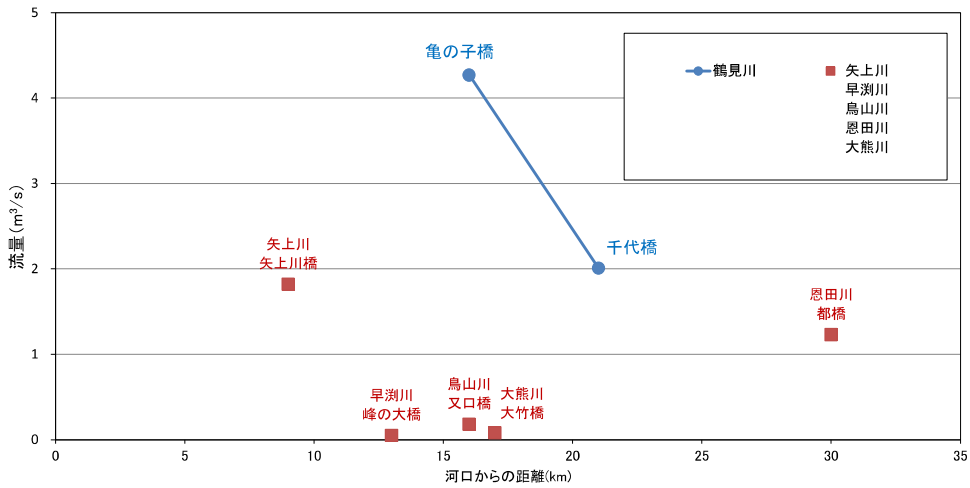


図 7-22 鶴見川水系における流量（8月）と河口からの距離の関係

鶴見川水系(COD)

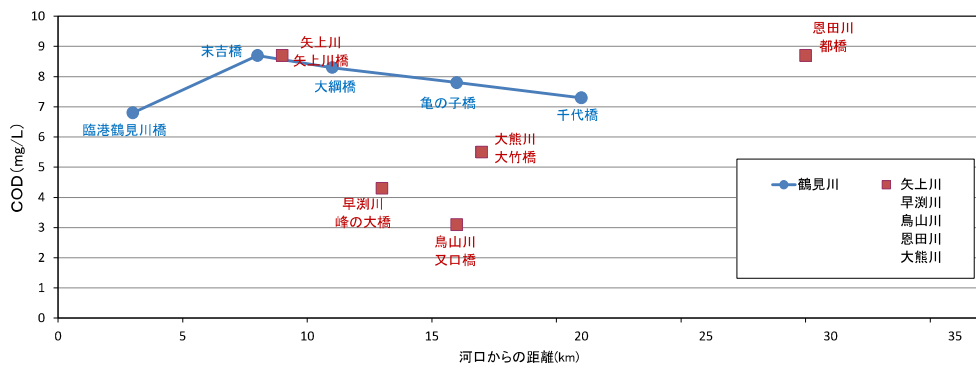


図 7-23 鶴見川水系における COD（8月）と河口からの距離の関係

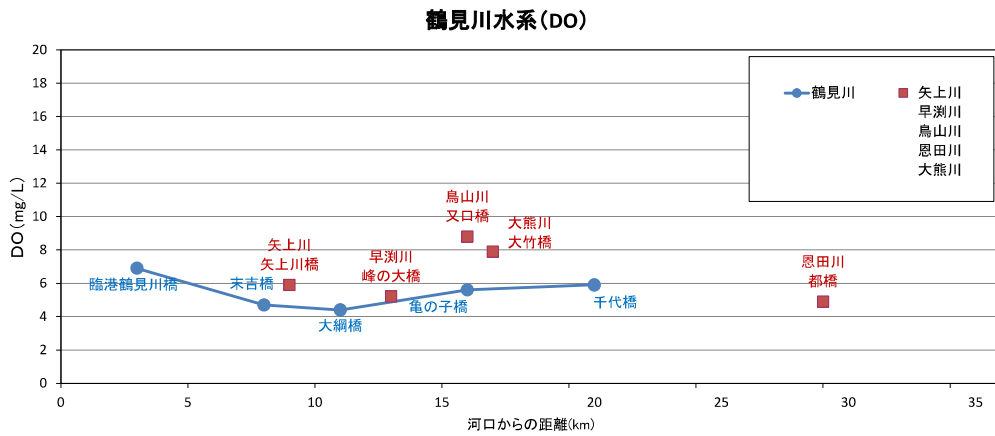


図 7-24 鶴見川水系における DO (8月) と河口からの距離の関係

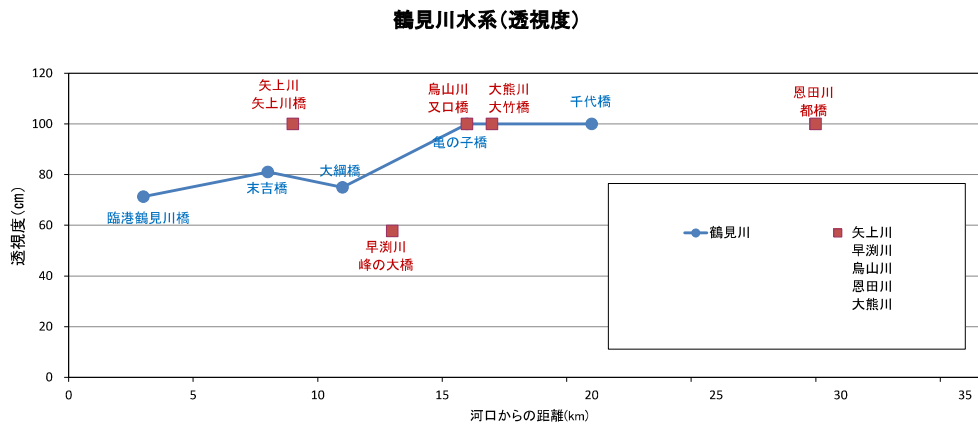


図 7-25 鶴見川水系における透視度 (8月) と河口からの距離の関係

8. 生物調査の実施実績

令和7年度の東京湾環境一斉調査における生物調査では、干潟調査及びその他の調査が実施されました。調査参加機関のレポートに記載された参加状況を合算したところ、干潟調査（8-1）に、延べ224名が参加し、その他の調査（8-2）についても多くの機関によって調査が行われており、大勢の参加者によって生物調査が実施されました。

8-1 干潟調査

(1) 干潟調査の概要

令和7年度は多摩川河口、浦安市日の出地先等の干潟を対象として調査が実施されました。また、より多くの方に東京湾を身近に感じてもらうため、昨年度に引き続き干潟調査の一環として「カニ生息一斉調査」も実施されました。

(2) 調査参加機関

令和7年度は、4団体から干潟調査の結果について報告があり（表8-1）、そのうちの2団体によりカニ生息一斉調査が実施されました。

表8-1 干潟生物調査の実施実績

報告書 番号	実施機関	調査場所	実施日
①	大田区環境マイスターの会	多摩川河口大田区側	6月26日 7月9日
②	浦安市三番瀬環境観察館	浦安市日の出地先	7月9日 7月10日 7月21日 8月3日 8月17日 8月22日 8月24日 9月6日
③	横浜港湾空港技術調査事務所 生物観察会 「横浜の海はいま？」	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」	8月8日
④	横浜港湾空港技術調査事務所 江戸前アサリわくわく調査		7月24日

(3) 干潟調査の結果

令和7年度の干潟調査は、4団体により3地点で実施されました(図9-1)。その結果、18綱105種の生物の生息が確認されました(表9-2)。

さらに今回確認された生物種について、環境省レッドリスト2025(令和7年3月)及び環境省版海洋生物レッドリスト(平成29年3月)への掲載の有無を調べたところ、絶滅危惧Ⅱ類(VU)と評価される種は含まれていなかったものの、準絶滅危惧(NT)と評価される種が1種含まれていることが確認できました。また、生態系被害防止外来種リスト(環境省及び農林水産省、2016)への掲載の有無について調べたところ、特定外来生物は含まれていなかったものの、総合対策外来種が4種含まれていることがわかりました。



出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp>)、国土地理院(GSI)

図8-1 干潟調査の実施地点と確認された生物種

表 8-2 干潟調査で確認された生物種

綱	科	種名		東京			環境省レッドリスト/ 海洋生物レッドリスト※	生態系被害防止 外来種リスト※
		和名	学名	多 摩 川 河 口 大 田 区 側	千 葉	神 奈 川		
							カテゴリ	カテゴリ
鈴虫	オキクラゲ	アカクラゲ	<i>Chrysaora pacifica</i>		○			
	ミスクラゲ	ミスクラゲ	<i>Aurelia cf. coerulea</i>		○			
ヒドロ虫	ウミヒドラ	カイウミヒドラ	<i>Schuchertinia epiconcha</i>		○			
花虫	タテジマイソギンチャク	タテジマイソギンチャク	<i>Diadumene lineata</i>		○	○		
多毛	ゴカイ	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i>	○				
		アシナゴゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>		○			
		-	-	○				
	イトゴカイ	-	-	○				
		イワムシ種群	-		○			
	ギボシイソメ	コアシギボシイソメ	<i>Scoletoma nipponica</i>		○			
		アミオニスビオ	<i>Pseudopolydora bassarginensis</i>		○			
	チロリ	ヒガタチロリ	<i>Glyceria macintoshi</i>		○			
		-	-		○			
		ミスヒキゴカイ	ミスヒキゴカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>			○	
		ミスヒキゴカイ種群	-		○			
	タマンキゴカイ	タマンキゴカイ	<i>Arenicola brasiliensis</i>		○			
	オフェリアゴカイ	ツツオオフェリア	<i>Armandia cf. amakusaensis</i>		○			
裸虫	フサコクムシ	ナギサコクムシ	<i>Bugulina californica</i>		○			
(紐形動物門)	ヒモムシ類	-	-	○				
腹足	ムシロガイ	アラムシロガイ	<i>Reticunassa festiva</i>	○	○	○	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	
		ムシロガイ	<i>Niotha livescens</i>		○			
	アッキガイ	イボニシ	<i>Thais clavigera</i>		○	○		
		アカニシ	<i>Rapana venosa</i>			○		
	ウミミナ	ホノウミミナ	<i>Battilaria altramantaria</i>		○			
	タマキビガイ	タマキビ	<i>Littorina brevicula</i>		○		絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	
		アラレタマキビ	<i>Nodilittorina radiata</i>		○			
		ツメタガイ	<i>Glossaulax didyma</i>		○			
		レイシガイ	<i>Reishia bronni</i>		○			
		カバサガイ	シマノウツネガイ	<i>Crepidula onyx</i>			○	総合対策外来種
二枚貝	イガイ	ドリイガイ	<i>Perna viridis</i>			○		総合対策外来種
	イタボガキ	マガキ	<i>Crassostera gigas</i>		○	○		
	マテガイ	マテガイ	<i>Solen strictus</i>	○	○	○	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	
	オキナガイ	ウトオリガイ	<i>Exolaternula liautaudi</i>		○			
	シジミ	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>		○		準絶滅危惧 (NT)	
		ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>		○			総合対策外来種
		アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	○	○	○		
		カキ	-	-	○			
		バカガイ	バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>		○		
		シオフキガイ	<i>Mactra quadrangularis</i>	○	○	○		
	イワホリガイ	ウスカラシオツガイ	<i>Ptericola, sp.</i>		○			
	フネガイ	サルボウガイ	<i>Anadara kagoshimensis</i>			○		
	アサヒガイ	シズガイ	<i>Theora fragilis</i>			○		
多板	カハダヒザラガイ	ヒメカハダヒザラガイ	<i>Acanthochitona achatas</i>		○			
顎脚	フジツボ	タテジマフジツボ	<i>Amphibalanus amphirite</i>		○	○		総合対策外来種
		シロスジフジツボ	<i>Balanus albicostatus</i>		○			
		-	-		○			
	イワフジツボ	イワフジツボ	<i>Chthamalus challengerii</i>		○	○		
軟甲	ヤドカリ	テナガツノヤドカリ	<i>Diogenes nitidimanus</i>		○		情報不足 (DD)	
		コブコバサミ	<i>Clibanarius infraspinitus</i>			○		
	ホネヤドカリ	ユビナガホネヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>		○			
	アナジャコ	アナジャコ	<i>Upogebia major</i>	○				
	エビジャコ	ウリタエビジャコ	<i>Crangon uritai</i>		○			
		コメツギガニ	<i>Scopimera globosa</i>	○				
	オサガニ	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>		○			
	ベンケイガニ	ヒメベンケイガニ	<i>Nanosarma minutus</i>		○			
	イワガニ	オキナガレガニ	<i>Planes major</i>			○		
	モクスガニ	クフサイソガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>			○		
		タカノクフサイソガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>			○		
		ヒライソガニ	<i>Gaetice depressus</i>			○		
		イソガニ	<i>Hemigrapsus sanguineus</i>			○		
		ケアシヒライソガニ(仮称)	<i>Gaetice cf. unguatus</i>			○		
	コブシガニ	マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>		○	○		
	スナガニ	スナガニ	<i>Cecypode stimpsoni</i>			○		
	テナガエビ	シラタエビ	<i>Exopalaemon orientis</i>		○			
		ユビナガスジエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>		○			
		スジエビモドキ	<i>Palaemon serrifer</i>		○			
	コンボソコエビ	ニホンドロソコエビ	<i>Grandiierella japonica</i>		○			
	-	-			○			
	スナウミナナフシ	ムロミスナウミナナフシ	<i>Cyathura muromiensis Nunomura</i>		○			
	ヨコエビ	-	-		○			
	ヒゲナガヨコエビ	モズミヨコエビ	<i>Ampithoe valida</i>			○		
		シロケンミセミ	<i>Dynoides dentisinus</i>			○		
	フナムシ	キタフナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>			○		
	-	-	-			○		
	サクラエビ	アキアミ	<i>Acetes japonicus</i>			○		
	クモガニ	イッカククモガニ	<i>Pyromata tuberculata</i>			○		
甲殻	ガザミ	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>			○		
		タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>			○		
		イシガニ	<i>Charvbidis japonica</i>			○		
		アミノコギリガザミ	<i>Scylla serrata</i>			○		
	ドロクダムシ	アリアケドロクダムシ	<i>Monocorophium acherusicum</i>		○			
クマ	ミツオビクマ	<i>Diastrylis trilineata</i>		○				
クモヒトデ	クモヒトデ	<i>Ophura kimbergi</i>		○				
	トックリウミグモ	カイヤドリウミグモ	<i>Nymphonella tapetis</i>		○			
海鞘	ユウレイボヤ	カタユウレイボヤ	<i>Ciona intestinalis</i>			○		

綱	科	種名		分布			環境省レッドリスト/ 海洋生物レッドリスト※	生態系被害防止 外来種リスト※
		和名	学名	東京	千葉	神奈川		
				多摩川 河口 大田区 側	浦安 市日 の出 地先	潮 彩の 渚		
							カテゴリ	カテゴリ
頭足	コウイカ	コウイカ属	<i>Sepia</i>		○			
	ヤリイカ	ジンドウイカ	<i>Loliolus (Nipponcoligo) japonica</i>		○			
軟骨魚	アカエイ	アカエイ	<i>Dasvatis akajei</i>		○			
条鰯	ボラ	ボラ	<i>Mugil cf. cephalus</i>		○	○		
	ハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	○	○	○		
		ミズハゼ	<i>Luciogobius guttatus</i>	○				
		チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>			○		
		ツマグロシハゼ	<i>Acentrogobius sp.2</i>		○			
		アゴハゼ	<i>Chaenogobius annularis</i>		○			
		アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trisnocephalus</i>		○			
		ピリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>	○				
		シマハゼ類	-			○		
	コチ	マゴチ	<i>Platycephalus sp.2</i>		○			
	ギマ	ギマ	<i>Triacanthus biaculeatus</i>		○	○		
	メジナ	メジナ	<i>Girella punctata</i>			○		
	タイ	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>		○	○		
	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>		○		絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	
	シマイサキ	コトヒキ	<i>Terapon jarbua</i>		○			
ヨウジウオ	ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>		○	○			
カタクチイワシ	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>		○				
トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ	<i>Doboatherina bleekeri</i>		○				

※環境省レッドリスト/海洋生物レッドリスト：評価カテゴリーは絶滅 (EX)、野生絶滅 (EW)、絶滅危惧 IA 類 (CR)、絶滅危惧 IB 類 (EN)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 II 類 (VU)、準絶滅危惧 (NT)、情報不足 (DD)、絶滅のおそれのある地域個体群 (LP) の 8 つに分けられる。絶滅危惧 2 類 (VU) は「絶滅の危険が増大している種」、準絶滅危惧 (NT) は「現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては『絶滅危惧』に移行する可能性のある種」と定義される。

※生態系被害防止外来種リスト：定着を予防する外来種 (定着予防外来種)、総合的に対策が必要な外来種 (総合対策外来種)、適切な管理が必要な産業上重要な外来種 (産業管理外来種) の大きく 3 つに分類される。

表 8-3 干潟調査で確認された生物種 (過年度との比較)

綱	科	種名		調査年					
		和名	学名	令和2年 (1団体1地点)	令和3年 (1団体1地点)	令和4年 (7団体5地点)	令和5年 (6団体6地点)	令和6年 (5団体3地点)	令和7年 (4団体3地点)
被子植物	アマモ	コアマモ	<i>Zostera japonica</i>			○	○		
海綿	イソカイメン	ナミイソカイメン	<i>Halichondria (Halichondria) panicea</i>			○			
鉢虫	オキクラゲ	アカクラゲ	<i>Chrysaora pacifica</i>		○		○	○	○
	ミスクラゲ	ミスクラゲ	<i>Aurelia cf. coerulesa</i>	○	○			○	○
ヒドロ虫	ハナガサクラゲ	ハナガサクラゲ	<i>Olindias formosa</i>			○		○	○
	ウミヒドラ	カイウミヒドラ	<i>Schuchertinia epiconcha</i>						○
花虫	タテジマイソギンチャク	タテジマイソギンチャク	<i>Diadumene lineata</i>			○	○	○	○
	ホウザウインギンチャク	ホウザウインギンチャク	<i>Synandwakia hozawai</i>				○	○	
	ウミサボテン	ウミサボテン	<i>Cavernularia obesa</i>				○	○	
多毛	ゴカイ	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i>			○	○	○	○
		カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>			○	○	○	○
		アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>					○	○
		オウギゴカイ	<i>Nectonanthus latipoda</i>					○	○
		クマドリゴカイ	<i>Perinereis cultrifera</i>					○	○
		デンガクゴカイ	<i>Pseudonereis variegata</i>					○	○
		コカゴカイ	<i>Simplisetia erythraeensis</i>					○	○
		ミナミノカゴカイ	<i>Neophtys polybranchia</i>					○	○
		-	-		○	○		○	○
		-	-					○	○
	イトゴカイ	-					○	○	
	カンザシゴカイ	-					○	○	
	イソム	イソムシ	<i>Marphysa sanguinea</i>			○			
	イソム	イソムシ 種群	-				○	○	○
	ビクイソム	アカムシ	<i>Holla okudai</i>				○	○	○
	ナナテイソム	スゴカイイソム	<i>Diopatra sugokai</i>			○	○	○	○
	ギボシイソム	コアシギボシイソム	<i>Scoletoma nipponica</i>				○	○	○
	スピオ	Paraprioposio 属	-				○		
		シノハネエラスピオ	<i>Paraprioposio patiens</i>					○	
		マダラスピオ	<i>Polydora brevipalpa</i>					○	
	アミメオニスピオ	<i>Pseudopolydora hassarginensis</i>						○	
	-	-					○		
	-	-					○		
チロリ	ヒガタチロリ	<i>Glycera macintoshi</i>					○	○	
	-	-					○	○	
	チロリ属の一種・未同定	<i>Glycera sp.</i>					○	○	
	ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>	○				○	○	
	ミズヒキゴカイ種群	-					○	○	
	タマシキゴカイ	<i>Arenicola brasiliensis</i>			○		○	○	
	オフエリアゴカイ	<i>Armandia cf. amakusaensis</i>					○	○	
	ツバサゴカイ	<i>Chaetopterus cautus</i>					○	○	
	シリス	<i>Syllis adamantea</i>					○	○	
	ウロコムシ	<i>Leiodonotus dentatus</i>					○	○	
標喉 (紐形動物門)	フサコケムシ	ナギサコケムシ	<i>Bugulina californica</i>						○
	-	-					○	○	
	ヒモムシ類	-					○	○	
腹足	ニシキズガイ	イボキザゴ	<i>Umbonium moniliferum</i>	○				○	○
	ムシロガイ	アラムシロガイ	<i>Reticulonassa festiva</i>		○	○	○	○	○
		ムシロガイ	<i>Niotha livescens</i>					○	○
	アッキガイ	イボニシ	<i>Thais clavigera</i>			○	○	○	○
		アカニシ	<i>Rapana venosa</i>			○	○	○	○
	ウミニナ	ホノウミニナ	<i>Batillaria attramentaria</i>			○	○	○	○
	カノキセワタ	キミヨキセワタ	<i>Melanochlamys fukudai</i>			○	○	○	○
	タマキビガイ	タマキビ	<i>Littorina brevicula</i>			○	○	○	○
		アラタマキビ	<i>Nodilittorina radiata</i>					○	○
	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ	<i>Assimineidae</i>	○					
		-	-					○	
	タマガイ	ホノヤツメタ	<i>Neverita didyma hosovai</i>					○	
		ツメタガイ	<i>Glossaulax didyma</i>					○	
	オオシノミガイ	ムラクモキンビキガイ	<i>Japonactaeon nipponensis</i>					○	○
	アッキガイ	レイシガイ	<i>Reishia bronni</i>					○	○
	カリバガサ	シマメハフネガイ	<i>Crepidula onyx</i>					○	○
	トウガタガイ	ヒガタヨコイトカケリ	<i>Cingulina sp.</i>					○	○
	ヘコムツラガイ	コメツツガイ	<i>Retusa insignis</i>					○	○
	リュウテン	コシダカガンガラ	<i>Tegula rustica</i>					○	○
	二枚貝	イガイ	ホトギスガイ	<i>Musculista senhousia</i>			○	○	○
		ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>			○	○	○	○
		ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i>			○	○	○	○
		コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>			○	○	○	○
		カワヒバリガイ	<i>Limnoperna fortunei</i>			○	○	○	○
イタボガキ		マガキ	<i>Crassostera gigas</i>	○		○	○	○	○
イシガイ		カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i>		○				
マテガイ		マテガイ	<i>Solen strictus</i>	○		○	○	○	○
		エノマテガイ	<i>Solen krusenstecni</i>			○	○	○	○
オキナガイ		クオリアガイ	<i>Exolaternula liautaudi</i>	○		○	○	○	○
シジミ		ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	○	○		○	○	○
		タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>				○	○	○
		-	-					○	○
		-	-					○	○
		フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ	<i>Trapezium liratum</i>				○	○
マルスダレガイ		オキシジミ	<i>Cyclina ad. sinensis</i>	○	○		○	○	○
		ホノビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>				○	○	○
		ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i>	○		○	○	○	○
		ハマグリ属の一種・未同定	<i>Meretrix sp.</i>				○	○	○
		アヤリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	○	○		○	○	○
	カガミガイ	<i>Dosinia japonica</i>				○	○	○	
	チリハギガイ	<i>Lasaea undulata</i>				○	○	○	
カキ	-	-				○	○	○	
シオサザナミガイ	イソシジミ	<i>Nuttalia olivacea</i>	○	○	○				
ニッコウガイ	サビシラトリ	<i>Macoma contabulata</i>			○		○	○	
	ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>					○	○	
	サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i>					○	○	
バカガイ	バカガイ	<i>Maetra chinensis</i>				○	○	○	
	シオベキガイ	<i>Maetra quadrangularis</i>				○	○	○	
チトセノハナガイ	チヨノハナガイ	<i>Raeta pulchella</i>				○	○	○	
イワボリガイ	ウスカラシオツガイ	<i>Ptericola sp.</i>	○	○	○				
フネガイ	サルボウガイ	<i>Anadara kagoshimensis</i>				○	○	○	
アサジガイ	シズクガイ	<i>Theora fragilis</i>				○	○	○	
多板	ケハダヒザラガイ	ヒメケハダヒザラガイ	<i>Acanthochitona achates</i>				○	○	○

綱	科	種名		調査年					
		和名	学名	令和2年 (1団体1地点)	令和3年 (1団体1地点)	令和4年 (7団体5地点)	令和5年 (6団体6地点)	令和6年 (5団体3地点)	令和7年 (4団体3地点)
顎脚	フジツボ	ヨーロッパフジツボ	<i>Amphibalanus improvisus</i>			○	○		
		アムカフジツボ	<i>Amphibalanus eburneus</i>			○			
		タテジマフジツボ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>			○			
		ドロフジツボ	<i>Fistulobalanus kondakovi</i>				○	○	○
		シロスジフジツボ	<i>Balanus albicostatus</i>					○	○
		-	-					○	○
		イワフジツボ	<i>Chthamalus challengerii</i>				○	○	○
		エボシガイ	<i>Lepas anatifera</i>				○		
		ミウガガイ	<i>Pollicipes mitella</i>					○	
		軟甲	ヤドカリ	テナガツノヤドカリ	<i>Diogenes nitidimanus</i>			○	○
コブヨコバサミ	<i>Ciibanarius infraspinatus</i>					○	○	○	○
-	-							○	○
コビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>						○	○	○
アナジャコ	<i>Urogoberia maior</i>			○		○	○	○	○
エビジャコ	<i>Cragon uritai</i>					○	○	○	○
ハサミシヤコエビ	<i>Laomedea astacina</i>			○				○	○
コメツキガニ	チゴガニ					○	○	○	○
	コメツキガニ					○	○	○	○
	コメツキガニ					○	○	○	○
オサガニ	オサガニ	オサガニ	<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>	○	○	○	○	○	○
		ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	○	○	○	○	○	○
		ベンケイガニ	<i>Orisarma intermedium</i>	○	○	○	○	○	○
		クロベンケイガニ	<i>Orisarma dehaari</i>	○	○	○	○	○	○
		カクベンケイガニ	<i>Parasesarma pictum</i>	○	○	○	○	○	○
		アカテガニ	<i>Chiromantes haematocheir</i>	○			○		
		ヒメベンケイガニ	<i>Nanosesarma minutus</i>						○
		イワガニ	オキナガレガニ				○	○	○
		モクスガニ	ケフサイノガニ			○	○	○	○
			タカノケフサイノガニ			○	○	○	○
	ヒライノガニ			○	○	○	○		
	イソガニ			○	○	○	○		
	アシハラガニ			○	○	○	○		
	クアシハラノガニ(仮称)						○		
	クアシハラノガニ(仮称)						○		
コブシガニ	コブシガニ	マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>			○	○	○	○
		ヒラコブシ	<i>Philyra svrdactyla</i>				○		
		スナガニ	<i>Oreopoda stimpsoni</i>					○	○
		イソオウギガニ	<i>Sphaerostylus nitidus</i>						○
		オウギガニ	<i>Macromedaeus distinguendus</i>						○
		同量でできなかったカニ	-						○
		テナガエビ	シラタエビ			○			○
			テナガエビ			○			○
			スジエビ			○			○
			コビナガスジエビ			○			○
	イソスジエビ						○		
	スジエビモドキ						○		
	スジエビ属						○		
コンボソコエビ	コンボソコエビ	ニホンドソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>					○	○
		-	-						○
		ヒゲナガモエビ	<i>Lysmata viitata</i>						○
		テッポウエビ	<i>Alpheus lobidens</i>						○
		フトオビイソテッポウエビ類	<i>Alpheus sp.</i>			○			
		テッポウエビ	<i>Alpheus brevirostratus</i>						○
		スナモグリ	ニホンスナモグリ			○	○		
		-	-						○
		スナウミナナフシ	ムロミスナウミナナフシ			○	○		○
		ウミナナフシ	ナナフシ						○
ヨコエビ	-						○		
ヒゲナガヨコエビ	モズミヨコエビ						○		
カクレガニ	オオシロビノ						○		
キンセンガニ	キンセンガニ			○					
クルマエビ	クルマエビ			○					
マシ	イソマシ			○					
ツブムシ	シリケンウメセミ						○		
スナホリムシ	-						○		
フレカラ	マルエラフレカラ			○					
	トゲフレカラ						○		
フナムシ	キタフナムシ			○			○		
	フナムシ			○			○		
	-						○		
	アキアジ						○		
	イソカクモガニ						○		
甲殻	ガザミ	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>			○		○	○
		タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>					○	○
		インガニ	<i>Charabdis japonica</i>					○	○
		アマメノキリガザミ	<i>Scylla serrata</i>						○
		ミドリガニ	チチュウカイミドリガニ			○	○		
		ドロクダムシ	アリアケドロクダムシ						○
		クーマ	ミツオビクーマ						○
		クモヒトデ	クシノハクモヒトデ						○
		クモヒトデ	-						○
		昆虫	バッタ	クルマバッタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>			○	
トノサマバッタ	<i>Locusta migratoria</i>					○			
シヨクリョウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>					○			
シヨクリョウバッタモドキ	<i>Gonista bicolor</i>					○			
マダラバッタ	<i>Aiolopus thalassinus tamulus</i>					○			
オンブバッタ	<i>Atractomorpha lata</i>					○			
キリギリス	ホシササキリ					○			
カマキリ	チョウセンカマキリ					○			
コオロギ	オカメコオロギ類					○			
	エンマコオロギ					○			
	シバズ			○					
	アキアカネ			○					
	-						○		
	セズジズメ						○		
	キタキチョウ						○		
	アオメアブ						○		
	オオハサミムシ						○		
	ヒメアメンボ						○		
ウミグモ	イソウミグモ	シマウミグモ	<i>Ammothoa hilgendorfi</i>				○		
	トックリウミグモ	カイヤドリウミグモ	<i>Nymphonella tapetis</i>					○	

綱	科	種名		調査年						
		和名	学名	令和2年 (1団体1地点)	令和3年 (1団体1地点)	令和4年 (7団体5地点)	令和5年 (6団体6地点)	令和6年 (5団体3地点)	令和7年 (4団体3地点)	
海鞘	シロボヤ	シロボヤ	<i>Styela plicata</i>			○	○			
	エボヤ	エボヤ	<i>Styela clava</i>				○			
	カクエウレイボヤ	カクエウレイボヤ	<i>Ciona intestinalis</i>					○	○	
頭足	コウイカ	コウイカ属	<i>Sepia</i>						○	
	ヤリイカ	ジンドウイカ	<i>Lololus (Nipponololigo) japonica</i>						○	
軟骨魚	アカエイ	アカエイ	<i>Dasvatis akatei</i>			○		○	○	
条鰐	ニシン	サツバ	<i>Sardinella zunasi</i>			○				
	ボラ	ボラ	<i>Mugil cf. cephalus</i>			○				
	ハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>				○		○	○
		アシシロハゼ	<i>Acanthogobius lactipes</i>				○		○	○
		ヒモハゼ	<i>Eutaenichthys gilii</i>	○			○		○	
		ミズハゼ	<i>Luciogobius guttatus</i>				○			○
		エドハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i>				○			
		チクゼンハゼ	<i>Gymnogobius uchidai</i>				○			
		シモフリシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>				○		○	
		チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>				○		○	○
		アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>				○			
		マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>				○			
		ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>				○		○	
		ツマグロスジハゼ	<i>Acentrogobius sp.2</i>				○			○
		アゴハゼ	<i>Chaenogobius annularis</i>				○		○	○
		アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>				○		○	○
		ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>				○		○	○
		ドロメ	<i>Chaenogobius gulosus</i>				○		○	
		ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>				○		○	
		ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>				○		○	
		チチブ属	-				○		○	
	ハゼ類	-		○				○		
	シマハゼ類	-						○	○	
	イソギンボ	イダデンギンボ	<i>Omobranchus punctatus</i>			○			○	
		チベカ	<i>Omobranchus elegans</i>					○		
		イソギンボ	<i>Parablennius vatabei</i>					○		
	コチ	コチ	<i>Platycephalus sp.</i>			○				
		ワニゴチ	<i>Inegocia ochiaii</i>			○				
		マゴチ	<i>Platycephalus sp.2</i>					○	○	
	ネズッコ	ネズミゴチ	<i>Ropomucenus curvicornis</i>					○		
	ギマ	ギマ	<i>Triacanthus biaculeatus</i>			○		○	○	
	イサキ	コシヨウダイ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>			○				
	メジナ	メジナ	<i>Girella punctata</i>						○	
	メダカ	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>					○		
	タイ	キチヌ	<i>Acanthopagrus latus</i>					○		
		クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>					○	○	
	ニシン	コシロ	<i>Konosirus punctatus</i>					○	○	
	コイ	マルタ	<i>Pseudaspius brandtii maruta</i>					○		
		コイ(型不明)	-					○		
		ニゴイ属	-					○		
		ウグイ属	-					○		
	アジ	ギンガメアジ	<i>Caranx sexfasciatus</i>					○		
	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>					○	○	
	ヒイラギ	ヒイラギ	<i>Nucleequula nuchalis</i>					○		
	フグ	クサフグ	<i>Takifugu albopumbeus</i>					○		
	シマイサキ	コトヒキ	<i>Terapon jarbua</i>					○	○	
	ヨウジウオ	ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>					○	○	
カタクチイワシ	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>					○	○		
トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ	<i>Doboatherina bleekeri</i>					○	○		
鳥	ハト	カワラハト	<i>Columba livia</i>		○	○	○			
	シギ	チュウシヤクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	○						
		キアシシギ	<i>Heterosceelus brevipes</i>	○		○				
	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>			○	○	○		
	カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	○	○	○	○	○		
		コアシサシ	<i>Sterna albifrons</i>			○	○	○		
	サギ	ダイサギ	<i>Ardea alba</i>		○	○	○	○	○	
		コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	○	○	○	○	○		
		アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>			○	○	○		
	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	○	○	○	○			
	チドリ	メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>			○				
	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>		○	○				
		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>			○				
	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	○	○	○				
	ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	○	○	○				
	ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>		○					
	セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	○		○	○			
	ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopar cineraceus</i>	○	○					
	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	○	○	○				
	セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba lugens</i>		○					
	アトリ	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	○		○				

(4) カニ生息一斉調査について

令和7年度は2団体によりカニ生息一斉調査が実施されました（調査シートの例は図8-3）。なお、調査結果については干潟調査の結果（表8-2）に含まれています。

とうきょうわん
東京湾 カニ生息一斉調査 調査シート
（調査者用）

1. 調査情報

調査した日時	年 月 日 時～時	調査した人	<input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大人
天気/気温	<input type="checkbox"/> 晴れ <input type="checkbox"/> 曇り <input type="checkbox"/> 雨 / 気温 (℃)	<input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 池沼 <input type="checkbox"/> 海岸 <input type="checkbox"/> 田舎	
調査した場所	<input type="checkbox"/> 砂地 <input type="checkbox"/> 泥地 <input type="checkbox"/> コシ標 <input type="checkbox"/> 林 <input type="checkbox"/> 草地 <input type="checkbox"/> 海水の水深 <input type="checkbox"/> 石ころ <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> カキの殻		

2. 観察された生き物

観察された生き物	発見数（見つけたらチェック！）	見つけた場所の様子 カニの特徴（大きさ、色など）
チヌユカイミドリガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
マメコブシガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
ケフサイソガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
タカノクフサイソガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
ハマガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
アシハラガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
アカチガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
クロベンケイガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
クシチガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
ウモレベンケイガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
イシガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
コメツキガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
チゴガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
オサガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
ヤマトオサガニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	
種類がわからなかったカニ	<input type="checkbox"/> 1匹 <input type="checkbox"/> 2匹 <input type="checkbox"/> 3匹以上（匹）	

種類がわからないときは、「干潟ベントスフィールド図鑑（日本国産地産全巻）」が役に立ちますよ！（カニの図鑑から探す、この図鑑のページが書いてあります！）
裏面のスケッチ欄も使ってみてね！

もし気に入ったカニがいたら、スケッチしてみよう！

カニの名前	
気に入ったポイント	

（ここに絵を書いてね）

※提出されたスケッチの一部は報告書「東京湾湾岸一斉調査の結果」に掲載されます。

~~~~~ご参加されたカニ生息一斉調査についてアンケートにご協力ください~~~~

|                                    |                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ご参加者のご年齢                           | <input type="checkbox"/> 19歳以下 <input type="checkbox"/> 20～29歳 <input type="checkbox"/> 30～39歳 <input type="checkbox"/> 40～49歳 <input type="checkbox"/> 50～59歳 <input type="checkbox"/> 60歳～ |
| お住まいの地域                            | <input type="checkbox"/> 東京都 <input type="checkbox"/> 埼玉県 <input type="checkbox"/> 千葉県 <input type="checkbox"/> 神奈川県 <input type="checkbox"/> その他( )                                         |
| ご参加のきっかけ<br><small>（複数回答可）</small> | <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> 雑誌・チラシ <input type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> その他( )                                     |
| 今回のカニ一斉調査の満足度                      | <input type="checkbox"/> 大変よかったです <input type="checkbox"/> ややよかったです <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> ややよくなかった <input type="checkbox"/> よくなかった                            |
| その他、ご意見・ご感想、改善点などお聞かせください          |                                                                                                                                                                                              |

図8-3 カニ生息一斉調査の調査シート

## 8-2 その他の調査

### (1) 調査参加機関

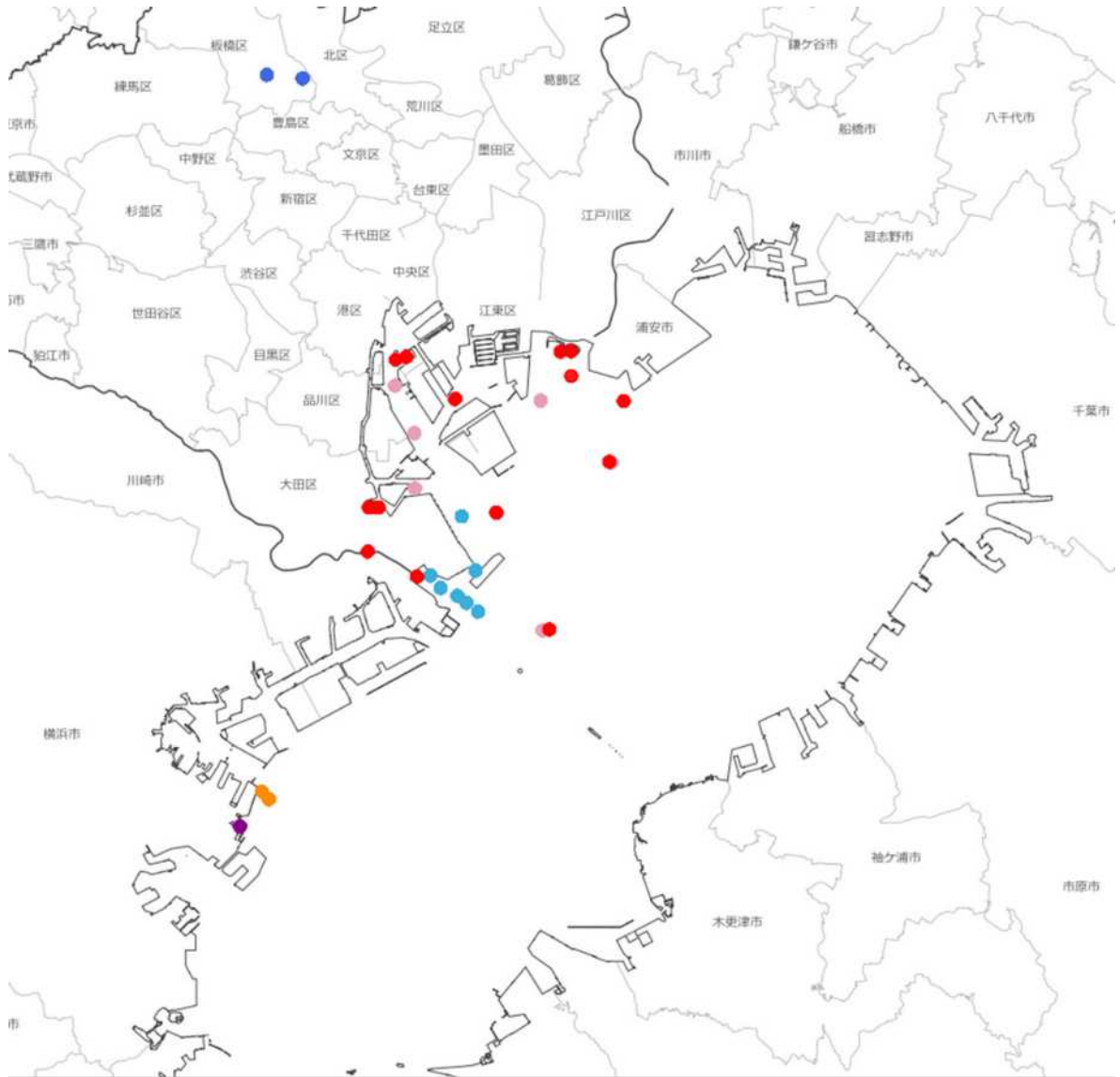
令和7年度は、5団体から干潟以外（河川、沖合など）の生物・プランクトン調査について報告がありました（表8-4）。

表8-4 その他の調査の実施実績

| 報告書<br>番号 | 実施・主催機関                   | 調査場所・地点名          | 実施日                                                        | 調査内容                                                 |
|-----------|---------------------------|-------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| ①         | 国土交通省関東地方整備局<br>東京空港整備事務所 | 東京湾内              | (1) 8月6日<br>8月14日<br>(2) 8月4日                              | (1) 底生生物<br>(2) 付着生物                                 |
| ②         | 京浜港湾事務所                   | 新本牧地区             | 6月30日～<br>7月7日                                             | 水生生物                                                 |
| ③         | 東京都環境局自然環境部<br>水環境課       | 東京湾内              | (1) 7月29日<br>(2) 8月8日<br>(3) 9月4日<br>(4) 8月7日<br>(5) 8月21日 | (1) プランクトン<br>(2) 稚魚<br>(3) 成魚<br>(4) 鳥類<br>(5) 底生生物 |
| ④         | 東京都板橋区                    | 石神井川<br>(久保田橋、緑橋) | 7月29日                                                      | 魚類、底生動物                                              |
| ⑤         | 横浜市港湾局                    | 横浜港本牧沖            | 8月7日<br>8月8日<br>8月18日<br>8月19日                             | 海藻類、水生生物<br>及び着生生物等                                  |

### (2) 調査実施地点

調査は、図8-4に示す地点で実施されました。



出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp>)、国土地理院 (GSI)

- 国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所(海底底生生物) (報告書番号①)
- 国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所(水生生物) (報告書番号②)
- 東京都環境局自然環境部水環境課(プランクトン調査) (報告書番号③)
- 東京都環境局自然環境部水環境課(東京都内湾部、浅海部、干潟部) (報告書番号③)
- 東京都板橋区(石神井川(久保田橋、緑橋)) (報告書番号④)
- 横浜市港湾局(横浜港本牧沖) (報告書番号⑤)

図 8 - 4 その他の調査の実施地点

### (3) 干潟以外の調査の結果

干潟以外の調査について、報告された結果の概要は以下のとおり。

- ① 国土交通省関東地方整備局東京空港整備事務所が羽田空港付近で行った底生生物調査では、シノブハネエラスピオ、ハナオカカギゴカイ、イトエラスピオ（環形動物門）、アサリ等が確認された。
- ② 国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所が新本牧地区で行った水生生物調査では、イソギンポ付着卵、カサゴ当歳魚、マダコ、マナマコ、ムラサキイガイ、リュウグウハゼ等が確認された。
- ③ 東京都が行ったプランクトン赤潮調査においては、細胞数では珪藻の *Skeletonema costatum* が最多となり、次いで *Thalassiosira* spp. の順に多く確認された。動物プランクトンでは繊毛虫類の *Oligotrichida* が多く確認された。
- ④ 東京都が行った東京都の干潟部における稚魚調査においては、全地点でビリンゴ、マハゼ、シラタエビが確認された。東京都の内湾部、浅海部における成魚調査においては、スズキ、マルアジが2地点で確認された。東京都の内湾部、浅海部、干潟部における底生生物調査においては、ヤマトシジミ、アサリ、ホンビノスガイ等が確認された。内湾部の海域は、下層で貧酸素状態であった。
- ⑤ 板橋区が石神井川で行った調査では、魚類調査においては、モツゴ、ドジョウ、ヒガシシマドジョウ、ギバチ等の魚類が確認された。底生動物調査においては、モノアラガイ属、カワリヌマエビ属、モズクガニ、ウデマガリコカゲロウ、コガタシマトビゲラ等が確認された。
- ⑥ 横浜市港湾局が行った横浜港本牧沖の調査では、藍藻綱、海綿動物門、イソギンチャク目、シロボヤ、ウスカラシオツガイ、ヒバリガイ等が確認された。

### 8-3 「東京湾生物情報とりまとめおせつ会」による取組

#### (1) 取組の概要

「東京湾生物情報とりまとめおせつ会」が、様々な団体に観察結果の提供を呼びかけ、10団体が24地点において2025年に東京湾で観察した生物種の取りまとめを実施しました（表8-5）。

表 8-5 「東京湾生物情報とりまとめおせつ会」が取りまとめた調査の実施実績

| レポート番号<br>掲載ページ | 実施・主催機関                                                                                                                                 | 調査場所・地点名 | 実施日        |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------|
| ①<br>p. III-1   | 浦安水辺の会<br>大田区環境マイスターの会<br>カニ探し隊<br>財団法人エコロジカルデモクラシー<br>三番瀬環境学習館<br>東京湾再生官民連携フォーラム多摩川河口プロジェクトチーム<br>多摩川干潟ネットワーク/だいし水辺の楽校<br>干潟館<br>干潟観察会 | 東京湾全域    | 令和7年1月～12月 |